

環境活動レポート



活動期間：令和5年1月～令和5年12月



発行日：令和6年4月1日



吉川塗装株式会社

1.事業概要及び対象範囲

1)事業所名及び代表者名

吉川塗装株式会社

代表取締役 吉川 慎一郎

2)所在地

〒883-0021

宮崎県日向市財光寺字沖ノ原1055-1

3)環境管理責任者、担当者及び連絡先

環境管理責任者 吉川 真利子

事務局担当者 吉川 真利子 TEL0982-53-1516

4)事業内容:塗装工事業・防水工事業

建設業許可:宮崎県知事 許可(特-1)第 4327号

5)事業規模:資本金

売上(R5年1月~R5年12月) 398.75百万円

資本金 2,000万円

従業員 21名

事業規模	単位	2021年	2022年	2023年
工事等の件数	件	296	327	356
売上高	百万円	289	382.3	398.75
従業員	人	21	21	21
事務所床面積	m ²	209	209	209
倉庫床面積	m ²	114	114	114
(敷地)	()	638	638	638

6)事業年度 9月~翌年8月

環境年度 1月~12月

7)対象範囲 全社、全活動(事業内容)を対象とします。

登録者名

吉川塗装株式会社

本社

活動(事業内容)

塗装工事・防水工事

環 境 方 針

＜基本理念＞

**私たちは塗装業を通して、お客様の満足度を高め地球
環境に優しい技術と方法に取り組み、社会に貢献する
企業を目指します**

＜行動指針＞

1. 具体的に次のことに取り組みます。
 - (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2) 廃棄物排出量の抑制とリサイクルを推進します。
 - (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
 - (4) 化学物質使用量を削減し、環境負荷の少ない物質へ切り替えていきます。
 - (5) グリーン購入を推進します。
 - (6) 資源の有効活用と技術の向上で社会に貢献する。
 - (7) 地域・社会貢献活動を実施します。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
3. これらの活動を全社員で持続的に実施します。

改訂日：2022年 4月 8日

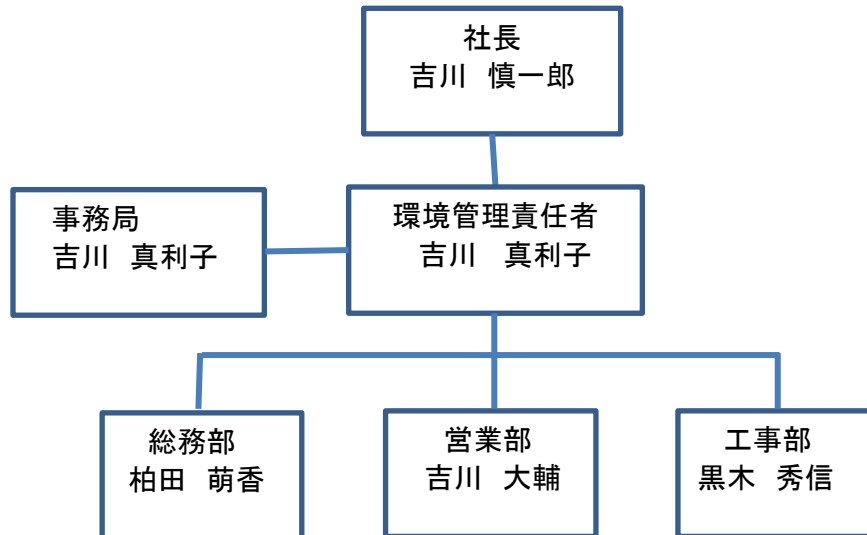
吉川塗装株式会社

代表取締役吉川慎一郎

実施体制

作成日

2022 年 4 月 4 日



役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境経営システムへの実施、人、設備、費用等を用意 ・管理責任者を任命 ・環境方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・環境目標及び環境活動計画の承認 ・全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、実行し環境実績を向上させる。 ・環境目標の達成状況をデータの評価を含めて評価 ・環境活動の取り組み結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの承認確認
事務局	・EA21文書及び記録類、基礎データの作成・維持・集計・管理 ・緊急事態への準備及び対応の訓練を実施 ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加 ・エネルギー使用量削減の意識を持つ ・廃棄物分別の周知と徹底

環境目標

作成日:2023年 3月 18日

【各年度の対象期間は、1月～12月】

環境方針 の番号	選択課題	基準年度 2022年度実績	2023年度 目標	2024年度 目標
1	二酸化炭素排出量削減 ^{※1} (CO2排出量) kg-CO2	54,730 kg-CO2	54,183 ▲1%	53,909 ▲1.5%
1-1	電力消費量削減 ^{※1} (電気消費量) kWh	9,932 kWh	9,833 ▲1%	9,783 ▲1.5%
1-2	ガソリン消費量削減 (ガソリン消費量) ℓ	14,316 ℓ	14,173 ▲1%	14,102 ▲1.5%
1-3	軽油消費量削減 (軽油消費量) ℓ	6,813 ℓ	6,744 ▲1%	6,710 ▲1.5%
1-4	LPG 事務所 (LPG消費量) kg	15.4 kg	15.2 ▲1%	15.2 ▲1.5%
2-1	産業廃棄物排出削減 kg	15,207.8 kg	15,055.7 ▲1%	14,979.7 ▲1.5%
2-2	産業廃棄物リサイクル率 [※] (塗料・廃油) %	56.5 %	57.1 1%	57.3 1.50%
3	水使用量削減 (水使用量) m ³	171 m ³	169 ▲1%	168 ▲1.5%
4	グリーン購入(品種)	13 品種	13 品種	14 品種
5	PRTR対象化学物質使用率 の削減(PRTR/購入塗料) %	42.5 %	42.1 ▲1%	41.9 ▲1.5%
6	社会奉仕(協会の社会奉 仕・出前授業等) 件	1 件	1 件	1 件

※1 九州電力調整後排出係数 0.392kg-CO2/kWh(R5年1月24日環境公表)

※2 リサイクル率(%) = 再資源化量/産業廃棄物総排出量

環境目標とその実績

作成日:2024年 3月 28日

【各年度の対象期間は、1月～12月】

取組み項目 (目標項目)(単位)		取組区分	基準値 2022年度実績	2023年度目標	実績値	達成率
① エネルギー	二酸化炭素排出量削減 (CO2排出量) kg-CO2	全社	54,730	54,183	60,720	89.2%
	電力消費量削減 (電気消費量) kWh ※1	事務所	9,932	9,833	9,285	105.9%
	ガソリン消費量削減 (ガソリン消費量) ℓ	現場	14,316	14,173	14,407	98.4%
	軽油消費量削減 (軽油消費量) ℓ	現場	6,813	6,744	9,156	73.7%
	LPG 事務所 (LPG消費量) kg	事務所	15.4	15	11.6	131.0%
② 廃棄物の削減	産業廃棄物排出削減 (kg)	全社	15,207.8	15,055.7	19,819.0	76%
	産業廃棄物リサイクル率 % ※2	全社	56.5	57.1	60.4	106%
3	水使用量削減 (m³)	全社	171	169	160	106%
4	グリーン購入(品種)	全社	13	13	13	100%
5	PRTR対象化学物質使用率 の削減(PRTR/購入塗料) %	現場	42.5	42.1	42.0	100%
6	社会奉仕(協会の社会奉仕・出前授業等)	全社	1	1	1	100%

※1 九州電力調整後排出係数 0.392kg-CO2/kWh(R5年1月24日環境公表)

※2 リサイクル率(%) = 再資源化量/産業廃棄物総排出量

※3 達成率(%) = 目標数/実施値。但しグリーン購入は達成率(%) = 実施値/目標値

※4 現場の電力使用量を含む二酸化炭素総排出量 61519.88kg-CO2

環境活動計画と実施状況

作成日 2023 年 3月 18 日
評 価 2024 年 3月 28 日

○ よくできた(90%以上) △あまりできなかった(60%以上) × 全くできなかった(60%以下)

環境方針の番号	目標課題	具体的な行動(活動)	達成状況	評価(結果と次年度の取り組み内容)
1.二酸化炭素排出量削減				
1-1	電力消費量削減	1. 空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房22℃)	○	事務所内の不要な節電やOA機器の省エネは以前から徹底しているが、倉庫での作業が増えたことにより、消費量が増大した。
		2. 昼休み中は消灯	○	
		3. 不要時のパソコン電源OFF	△	
		4. 不要照明の消灯	○	次年度もしっかり節電していきます。
		5. OA機器の省エネモード設定	○	
		6. オン/オフ機能を有したコンセントの使用	△	
		7. LED化への移行(更新時)	-	
1-2	ガソリン消費量削減	1. 乗車前の点検(タイヤ空気圧など)	○	遠方工事の増加、軽油使用料が増えた。次年度もしっかり日々の節約を心がけていきたい。
		2. 無駄なアイドリングは行わない	○	
		3. 急加速の抑制	○	
		4. 冷房の控えめ使用	○	次年度も意識を高く、使用量の削減につなげていきたい。
		5. 現場への乗り合わせ	○	
		6. 更新時エコカーへの切り替え	○	
2-1	廃棄物排出量削減	1. ゴミの分別	○	橋梁塗装の剥離により排出量が目標値以上にはなっているが、意識は高く持っている。
		2. 裏紙の再利用促進	○	
		3. 古紙や塗料オイルのリサイクル化	○	今後も廃棄物への意識を高く分別を徹底的にしていきたい。
		4. マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理	○	
2-2	一般廃棄物(資源回収)の再資源率の向上	1. 新聞紙の古紙回収	○	分別回収を実施している。
		2. 段ボールの分別回収	○	
		3. ペットボトルや空き缶の回収	○	次年度も資源活用に協力していきたいです。
		4. ペットボトルキャップの回収	○	
3	水使用量削減	1. 節水の呼びかけ	○	今後も使用量を意識していきたい
		2. 検針表の毎回チェック	○	次年度も節水に努めていきます。
4	化学物質の削減	1. 水溶性塗料への切り替え	○	建物などは、水性材料使用を推進している。水性塗料が多くなり良い傾向である。
		2. 飛散防止の保護具の着用	○	次年度も使用量を把握し、削減に努めていきます
5	資源の有効利用と技術向上で社会に貢献	1. 塗料剥離の技術導入と向上	○	剥離剤という新技術をもっと向上していき塗料の使用削減に繋げていく
		2. 単位面積あたりの塗料の削減(技術向上)	○	
		3. 未使用塗料の削減(積算能力の向上)	○	
6	グリーン購入率の向上	1. 再生紙・エコマーク商品の購入	○	商品をチェックしながら、移行している。次年度も継続していきます。
7	ボランティア活動	1. 年1～2回のボランティア活動参加	○	社会貢献活動・地域活動には積極的に参加している。次年度も継続していきます。

環境関連法令等の一覧表兼遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反訴訟の有無

日付 2024年3月28日

評価者 吉川 真利子

法規名	該当する要求事項等	評価
廃棄物処理法	産廃収集・運搬処理業者の許可の確認、契約 (契約終了後は5年間保管)	遵守
	収集・運搬・処分は許可を受けた一般廃棄物収集・運搬業者及び 一般廃棄物処分業者に委託する。	遵守
	マニフェスト交付 A表に照合確認日を記入してA・B2・D・E票の保管(5年間)	電子マニフェ ストへ移行
化管法 (PRTR制度)	第一種指定化学物質1%以上、特定第一種指定化学物質0.1% 以上含む原材料は使用量を把握する。	把握して いる。
消防法	少量危険物の指定数量未満の保管と扱い	遵守
水質汚濁防止法	油及び有害物質の流出事故時の措置と届け出	-
有機溶剤中毒 予 防規則	有機溶剤作業主任の配置・作業時の保護具の着用	遵守
家電リサイクル法	テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機	-
建設リサイクル法	指定副産物の再資源化	遵守
浄化槽法	年一回 官庁検査を受ける	遵守
フロン排出抑制法	簡易点検・記録(3ヶ月毎)	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、違反はありませんでした。
なお、関係当局、地域住民からの違反、苦情等の指摘もありませんでした。

代表者による全体の 評価と見直し記録

保管期限 : 作成日より3年間

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント（今後の取り組み）
1 環境関連法規等の遵守状況 確認結果	特に問題はなかった	今後も繰り返し周知していくことが大事である
2 環境目標の達成状況	受注工事により達成状況が変動するが、把握することに意味があることを認識する。	今後も取り組み全員で改善していく
3 環境活動計画の実施状況	廃棄物等のリサイクルは十分徹底されているが、その他を徹底していく	今後も取り組み全員で改善していく
4 問題点の是正、予防の状況	今後も、測定継続していき問題点を改善していく	全社員の意識が高いことで大きな問題の発生がない。
5 外部からの苦情の有無及び 対応結果	塗装工事に入る前に近隣住民にも挨拶するため、苦情はなかった	続けて無苦情で行いたい
6 環境上の緊急事態の訓練 結果及び対応結果	コロナ感染対策、その後の対処	Withコロナで対策と同時に会社からの補償もしっかりしていく
7 その他	特になし	特になし

見直しの 必要性の 判断と 指示 代	①環境方針	継続していく
	②環境目標	継続していく
	③環境活動計画	継続していく
	④環境経営システム	継続していく
	⑤実施体制	継続していく
	その他の指示	

作成日 2024年4月1日

代表者 吉川 慎一郎